

人と多様なモビリティが共生する 安全で心ときめく ゆっくりを軸としたまちづくり

(第2回運輸総研ゆっくりを軸としたまちづくりセミナー/第6回TTPUセミナー)

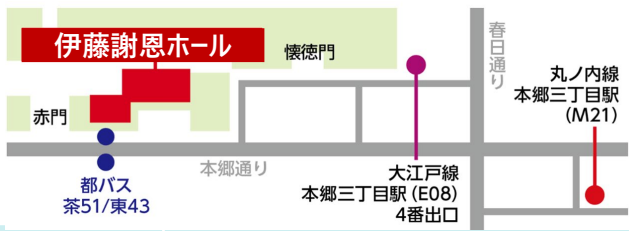


運輸総合研究所では、「人と多様なモビリティが共生する安全で心ときめくゆっくりを軸としたまちづくり」調査研究を立ち上げ、道路の低速化と多様なモビリティの活用を主軸としたゆっくりを軸としたまちづくりの手法に関して、海外の先行事例調査等を行うとともに、国内展開するにあたっての実現化方策や課題等を検討し、日本でのモビリティまちづくりの姿を整理することを目的に、取り組んできました。本シンポジウムは、本調査研究の成果を報告するとともに、これまでアドバイザーとして本調査研究に参画した有識者と交えた議論を行うことで、日本産の「人と多様なモビリティが共生する安全で心ときめくゆっくりを軸としたまちづくり」の実現に向けた課題と取り組むべき方策について共有し、理解を深めることを目的に実施する。

日時 2026年7月17日(金)
15:30 - 18:30(開場15:00)

会場 東京大学伊藤謝恩ホール
+オンライン配信 ※参加無料

- 主催** 一般財団法人運輸総合研究所
- 共催** 東京大学公共政策大学院
交通・観光政策研究ユニット (TTPU)
- 協力** 内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期
スマートモビリティプラットフォームの構築
IBSコンソーシアム (実践的なモビリティ・サービスのり・デザイン)
- 後援** 公益社団法人日本交通計画協会



開会挨拶	一般財団法人運輸総合研究所会長/ 東京大学公共政策大学院客員教授 宿利 正史
来賓挨拶	国土交通省 (調整中)
基調講演	「小さなみちの大きな改革」 筑波大学名誉教授/SIP「スマートモビリティプラットフォームの構築」プログラムディレクター 石田 東生
報告	一般財団法人運輸総合研究所客員研究員/ 東京大学公共政策大学院特任准教授 三重野真代
パネル ディスカッション	《モデレータ》 筑波大学名誉教授/ 公益社団法人日本交通計画協会代表理事 谷口 守
	《パネリスト》 筑波大学名誉教授/SIP「スマートモビリティプラットフォームの構築」プログラムディレクター 石田 東生 一般財団法人計量計画研究所常務理事/ CoIU (コイノベーション大学) 教授 牧村 和彦 自動車ジャーナリスト 桃田 健史 富山大学客員教授/ 京都大学非常勤講師 /前富山市長 森 雅志
	一般財団法人運輸総合研究所客員研究員/ 東京大学公共政策大学院特任准教授 三重野真代
閉会挨拶	一般財団法人運輸総合研究所 主席研究員・研究統括 藤崎 耕一



石田 東生
(いしだ はるお)

筑波大学名誉教授
SIP「スマートモビリティ
プラットフォームの構築」
プログラムディレクター

東京大学大学院土木工学専攻を修了後、東京工業大学助手、筑波大学社会学系教授を経て、2017年に定年退職。専門分野は、交通政策・国土政策・社会資本政策。最近ではMaaSやスマートシティに関する提言活動や政府の検討会議に参画している。国土交通省国土審議会推進部会副座長、グリーンインフラ推進戦略会議座長、経済産業省デジタルライフライン総合整備推進会議有識者構成員、デジタル庁モビリティWG有識者構成員などを務める。
著書に、『みち——創り・使い・暮らす』(技報堂)、『歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学』(産経新聞出版)、『ウェルビーイングを実現するスマートモビリティ』(学芸出版社)など。



谷口 守
(たにぐち まもる)

筑波大学名誉教授
公益社団法人日本交通
計画協会 代表理事

1989年京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。工学博士。1989年京都大学工学部助手、カリフォルニア大学客員研究員、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授、2002年同教授等を経て、2009年より筑波大学システム情報系教授、2026年より現職。IFHP(国際住宅・都市計画連合)元日本代表理事、2015年より公益社団法人日本交通計画協会代表理事、2021年より社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会分科会長。コンパクトシティ研究で文部科学大臣賞(科学技術賞)(2021年)、都市計画学会石川賞(2022年)、都市のサイバー化研究で米谷佐木賞(創研部門)(2016年)、ほか土木学会・不動産学会・都市計画学会等で論文賞受賞多数。著書に『入門都市計画』(単著、2014年、森北出版)、『世界のコンパクトシティ』(編著、2019年、学芸出版社)『生き物から学ぶまちづくり』(単著、2018年、コロナ社)、『実践 地域・まちづくりワーク』(単著、2018年、森北出版)ほか。専門は都市・地域計画、交通計画、環境計画。



牧村 和彦
(まきむら かずひこ)

一般財団法人計量計画
研究所 常務理事
CoIU(コイノバージョン
大学) 教授

モビリティデザイナー。東京大学 博士(工学)。筑波大学客員教授、神戸大学客員教授。一般社団法人JCoMaaS理事、一般社団法人日本モビリティマネジメント会議理事。将来の交通社会を描くスペシャリストとして活動。内閣官房未来投資会議、官民連携協議会等に参加。経産省スマートモビリティ推進協議会アドバイザー、国土交通省MaaS委員会の臨時委員、国土交通省ユニバーサル社会におけるMaaSの活用方策についての研究会委員、国土交通省バスタプロジェクト推進検討会委員等を務める。「MaaSが都市を変える～移動×都市のDX最前線(学芸出版社、2021、不動産協会賞受賞)」のほか多数の著書を執筆。



桃田 健史
(ももた けんじ)

自動車ジャーナリスト

1962年東京都生まれ。自動車関連産業に40年以上携わり、自動車を軸にIT、交通、環境、エネルギー分野まで幅広く取材・分析を行う。国内外のモビリティ政策や自動車産業の変化を長年追いつけ、欧州・北米・アジアなど世界各地を取材。東洋経済オンライン、ダイヤモンドオンラインなど経済系メディアをはじめ、多数の自動車専門メディアで連載・寄稿を行うほか、テレビ・ラジオ出演、海外自動車レース番組の解説など幅広く活動。近年は、自動運転、CASE、MaaS、地域交通、脱炭素社会に向けたモビリティ変革についても積極的に発信している。



森 雅志
(もり まさし)

富山大学 客員教授
京都大学 非常勤講師
前富山市長

1952年富山市生まれ。1976年中央大学法学部卒業。1995年富山県議会議員当選、2002年旧富山市長に就任、2005年市町村合併に伴い新富山市長に就任、4期務め2021年任期満了退任。人口減少時代を見据え「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」ビジョンを策定し、LRTネットワークを中心とした街づくりを進める。その間、富山市は「環境モデル都市」「環境未来都市」「SDGs未来都市」第一号認定を受け、国際的にはOECDより世界のコンパクトシティ5都市に選出。国連のエネルギー効率改善都市、ロックフェラー財団100のレジリエント都市、世界銀行のパートナー都市などに選定される。個人として国土交通大臣交通文化賞受賞。日本建築学会文化賞受賞。OECDチャンピオンメイヤーズに選任。



三重野 真代
(みえの まよ)

東京大学公共政策大学院
特任准教授
(一財)運輸総合研究所
客員研究員
武蔵野大学特任教授

1980年大分県生まれ。京都大学経済学部卒、ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)都市政策修士号取得。2003年国土交通省に入省。2021年より東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット特任准教授、武蔵野大学経営学部経営学科特任教授、一般財団法人運輸総合研究所客員研究員、一般社団法人未来社会デザイン機構理事、公益社団法人日本観光振興協会客員研究員、一般社団法人グリーンスローモビリティ協議会理事長等を務め。編著書に、『グリーンスローモビリティ～小さな電動車が地域と公共交通を変える～』(編著、学芸出版社2021年)。

* 現在、鋭意製作中* 会場にて、本調査結果をまとめた書籍を特別価格でお買い求め頂けます

『なぜクルマの速度を下げるとまちが再生するのか ～人とモビリティが共生するビルアペゼ戦略～』

三重野真代・石田東生+運輸総合研究所 編著 谷口守・牧村和彦・桃田健史・森雅志 著
(学芸出版社、2026年6月20日発売予定)

クルマのための道から、まちのための道へ
都市の中心部を低速化すると、まちが呼吸した。

クルマのための道から、まちのための道へ。都市全域にわたるモビリティの速度と優先度を場所に応じて段階的に見直し、中心部の低速化と中心部へのアクセス性を実現した先に現れたのは、鳥のさえずり、人々の語り、そして地域経済の活気だった。私たちが「街でどう生き、どう暮らしたいか」を問い直す、都市再生の最終解。



【お申込みURL】

<https://krs.bz/jterc/m/symposium260717>

報道来場取材申込期限：7月8日(水)17時まで

来場申込期限：7月15日(水)17時まで

※会場参加は定員に達次第、締め切ります。

※オンライン配信をお申し込み頂いた方には、

7月16日(木)午後までに視聴用URLを送付いたします。



【事務局・問い合わせ】

一般財団法人運輸総合研究所(担当:新倉・前田)

TEL:03-5470-8415

FAX:03-5470-8401

E-mail: collo@jttri.or.jp

HP: <https://www.jttri.or.jp/>